

# らららん2号



※ インフルなどで体調を崩す人が増えています。気をつけて

## のびのびと元気よく

例年、新入園の皆さんは、数日間よく泣く子がいますが、今回は2～3日目になると泣く子がとても少なくなりました。新しい環境に適應できる力が、子どもたちに備わっているように感じました。

クラスの友だちと遊ぶことや、遊具などを使って自分の好みの遊びがはっきりすると、だんだん幼稚園が魅力的に感じられるでしょう。幼稚園にある人的、物的な環境を使って遊び込んでほしいと思っています。

先週、園庭で「もういいかい?」「まあだだよ」という声が聞こえました。何度もこの呼びかけを繰り返しています。そろそろ「もういいよ」と言ってあげてほしいのに、このフレーズを繰り返すことを楽しんでいるようにも思えました。たぶん、このように声を掛け合うことが楽しいのでしょう。だんだん友だちとのやり取りを楽しいと、意識し始めているのだらうと思います。



## 乳児のスケッチブックから

乳児部の最近の様子を紹介します。乳児のみなさんは、まだまだ涙の出る毎日ですが、保育室のおもちゃに興味をもち遊べる時間も少しずつ増えています。そんな姿をやさしく見守っていきたいと思います。



これは何だろう。夢中になって遊んでいます。



「でん」はこだわりの空間です。ここで子どもはととてもくつろいでいます。

# 「なつぞら」のおじいちゃん

4月からNHK朝のテレビ小説で「なつぞら」がスタートしました。この「なつぞら」はまだ15回程度の進展ですが、私は泰樹おじいちゃん役の草刈正雄さんがいいなあと思いました。この朝のテレビ小説は、おばあちゃん、おじいちゃんが大切な役割を持っているように思います。前回の「まんぷく」では、おばあちゃん役の松坂慶子さんがわがままな言動をしていましたが、大切なところでいいヒントやアドバイスをしていました。

今回は、まったくタイプの違うおじいちゃんです。ぼくとつで多くを語りません。しかし、子ども(孫)がやりたいことをやらせる、本当に子どもを大切にしている姿勢がわかります。天陽君の家族をみんなで助けようと原野を開墾するとき、おじいちゃんの一言は印象に残りました。



泰樹 「ワシはなつに言われて、ここに来た。この子に言われなければ、動きはせんかった」

正治 「だから、何です。それは、そちらの事情でしょう」

泰樹 「ワシの事情じゃない。なつの事情だと言っているんだ。それを真剣に聞いてやるのが、なぜいかん。同じように、あんたの息子にも事情はあるだろう。それを真剣に聞いてやれと、そう言っとるんじゃ」

※ 正治 (天陽の父で、北海道に入植したが、厳しい生活のため他の土地へ移転することを考えていた。)

結局、なつの同級生の天陽くんは北海道で農業をしたいと言い、みんなで開墾に協力していくという展開になりました。子どもの声を真剣に聞くと言いますが、いつも全てを聴くことは難しいと思います。しかし、物語では孤児だった「なつ」と「おじいちゃん」の関係がぐっと近づく大切なポイントとして描かれていました。子どもの心に残るおじいちゃんのように、私もなりたいたと思いました。

## 八坂神社駐車場について

八坂神社周辺は道路工事のため、5月7日(火)～6月上旬まで駐車場への通常の進入路が使用できません。そのため、図のように大鳥居下の参道通路を通して駐車場へ止めていただきたいと思います。また、このとき参道通路への駐車もできません。同じように駐車場から出るときも参道通路を使ってください。よろしくお願いします。

